

「齋宮の認知度を測るアンケート」 e-モニターアンケート実施報告書

齋宮歴史博物館が実施しました「齋宮の認知度についてのアンケート」について、873名の方からご回答を頂きました。アンケート結果について、下記のとおり報告いたします。

アンケートにご協力頂きました e-モニターの皆様には厚くお礼申し上げます。

(1) アンケート実施期間

2015年6月11日(木)から2015年7月2日(木)

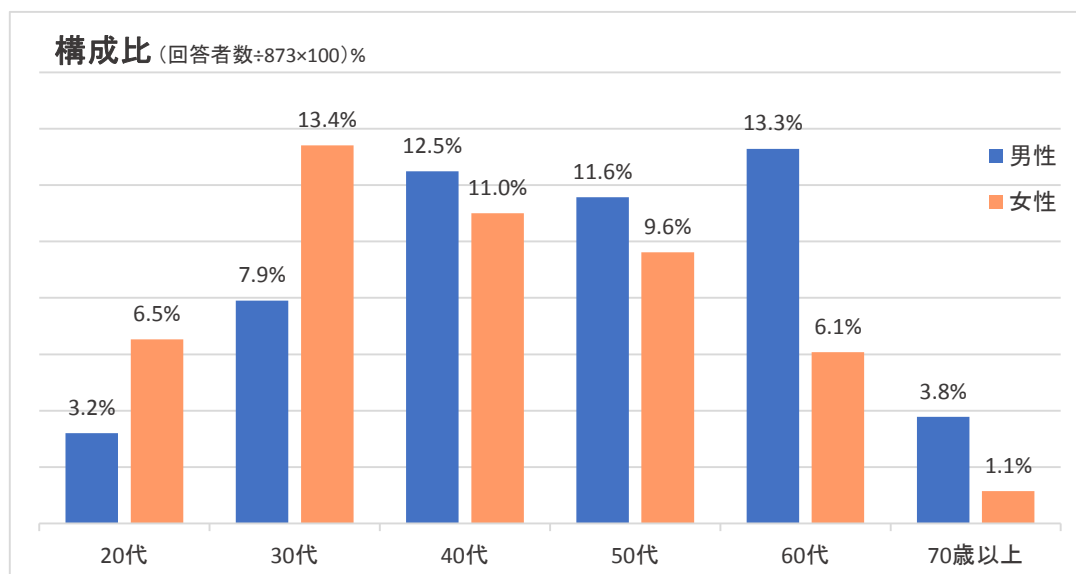
(2) アンケート回収状況

対象者数 1,217名
回答者数 873名
回答率 71.7%

(3) 回答者属性

	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	計
男性	28	69	109	101	116	33	456
女性	57	117	96	84	53	10	417
計	85	186	205	185	169	43	873

(単位:人)



回答者属性:お住まいについて(Q1)

地区別	北勢	中南勢	伊賀地方	東紀州	計
人数	420	360	66	27	873
構成比	48.1%	41.2%	7.6%	3.1%	100.0%

【北勢】

桑名市、いなべ市、木曽岬町、東員町、四日市市、菰野町、朝日町、川越町、鈴鹿市、亀山市

【伊賀地方】

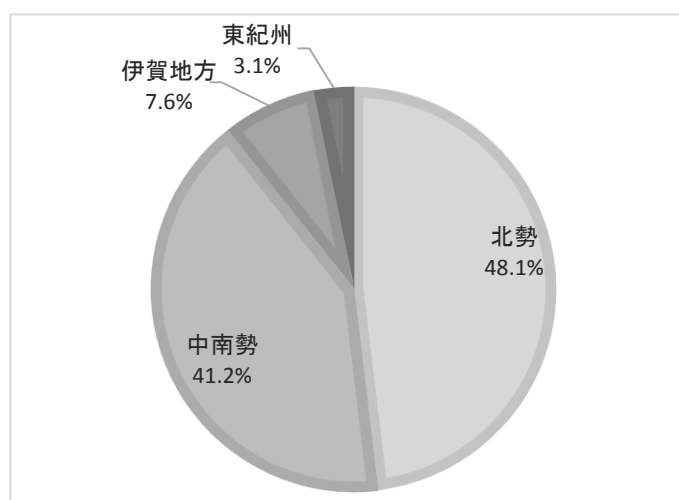
伊賀市、名張市

【中南勢】

津市、松阪市、多気町、明和町、大台町、伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、大紀町

【東紀州】

尾鷲市、紀北町、熊野市、御浜町、紀宝町

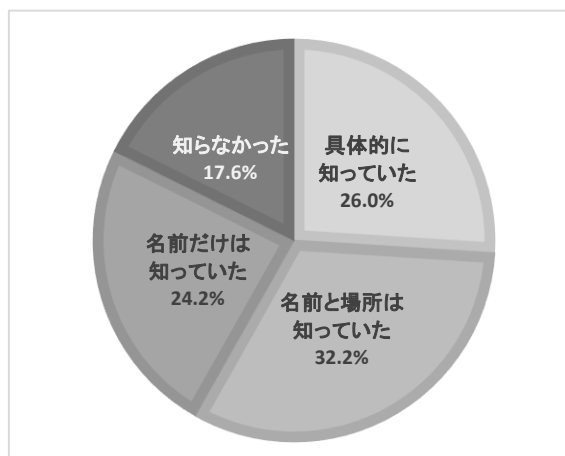


(4) アンケート集計・結果

【1】齋宮の認知度について

齋宮をご存じでしたか(Q2)

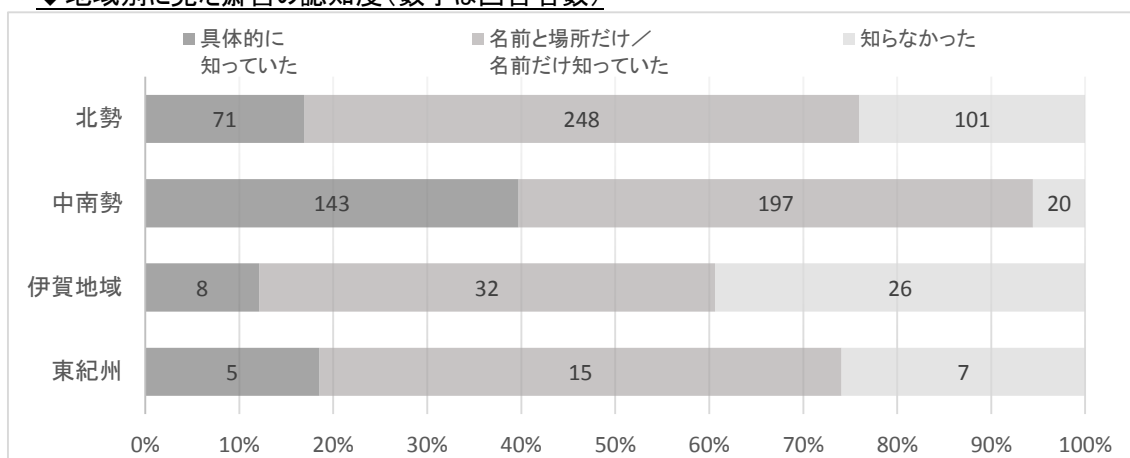
具体的に知っていた	227
名前と場所は知っていた	281
名前だけは知っていた	211
知らなかった	154
合計	873



齋宮について、名前だけでも「知っていた」割合は 82.4%で、そのうち「具体的に知っていた」割合は全体の約4分の1(26.0%)でした。

全く「知らなかった」割合は 17.6%でした。

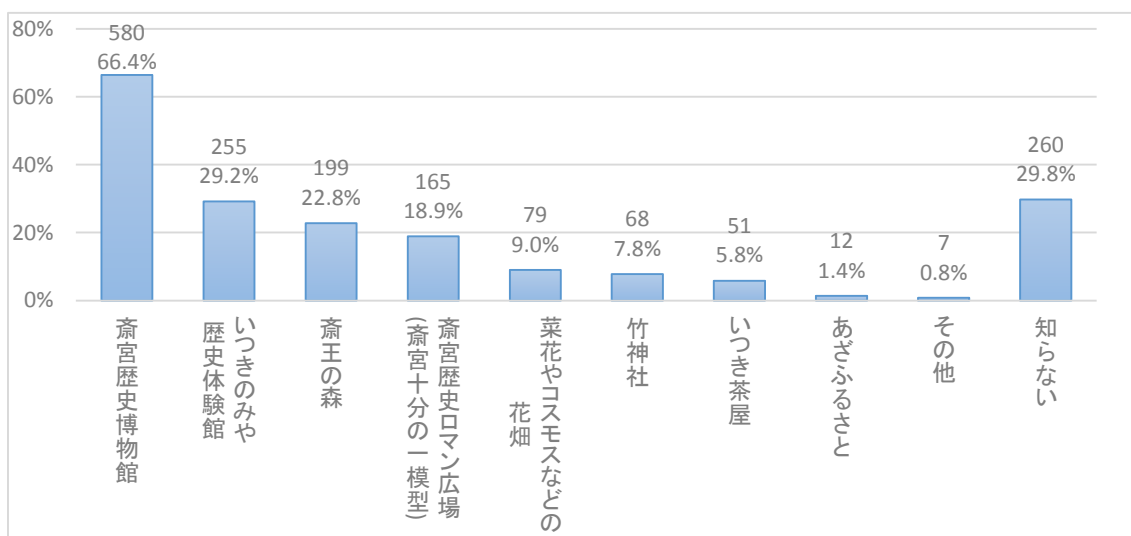
◆地域別に見た齋宮の認知度(数字は回答者数)



齋宮について「具体的に知っていた」人が占める割合は、齋宮が属している中南勢地域では約4割で、2割に満たない他の地域と比べ、認知度が高いことが伺えます。全く「知らなかった」割合も、同地域内では約5.0%程度でした。

【2】齋宮に関する施設について

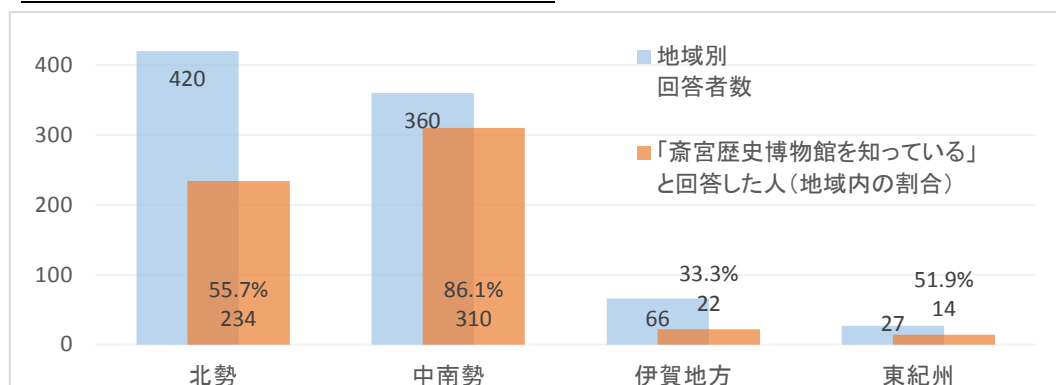
齋宮に関する施設で、ご存じだったものはありますか(複数回答可)(Q3)



その他の回答……野花草薺の群生地／頓宮／発掘している現場／松阪マルシェ／梅林 等

回答者 873 名のうち6割以上(66.4%)が「齋宮歴史博物館」を知っていると回答しました。続いて多かったのは、順に「いつきのみや歴史体験館(29.2%)」、「齋王の森(22.8%)」、「齋宮歴史ロマン広場(18.9%)」でした。一方、全体の29.8%は、齋宮に関する施設について全く「知らない」との結果でした。

◆地域別に見た、「齋宮歴史博物館」の認知度



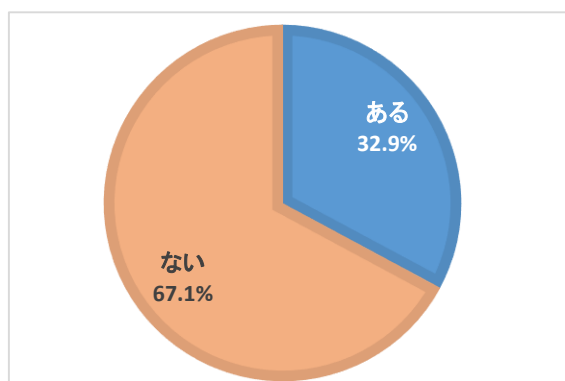
中南勢地域での認知度が最も高く、86.1%が齋宮歴史博物館を知っていると回答しています。また、北勢地域や東紀州地域でも、5割以上が齋宮歴史博物館を知っていると回答でした。

一方、認知度が最も低かったのは伊賀地方で、知っていると回答したのは約3割(33.3%)でした。

【3】齋宮への来訪の有無について

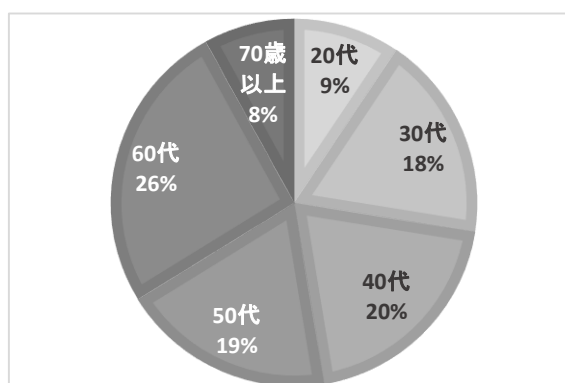
あなたは齋宮に行かれたことがありますか(Q4)

ある	287
ない	586



◆齋宮を訪れたことが「ある」回答者の年齢層

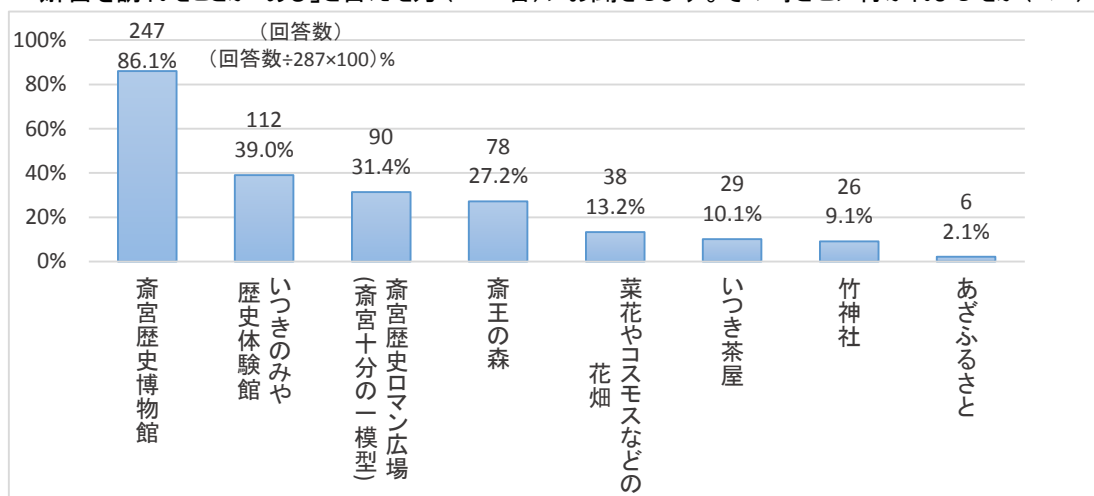
年代	人数	割合
20代	27	9.4%
30代	52	18.1%
40代	57	19.9%
50代	54	18.8%
60代	74	25.8%
70歳以上	23	8.0%
計	287	100.0%



齋宮を訪れたことが「ある」と答えた割合は、全体の回答者の約3割(32.9%)でした。その中で、訪れたことがあると回答した割合が最も多かったのは「60代(25.8%)」で、続いて「40代」、「50代」が多く、40代以上の合計で全体の7割以上を占めました。

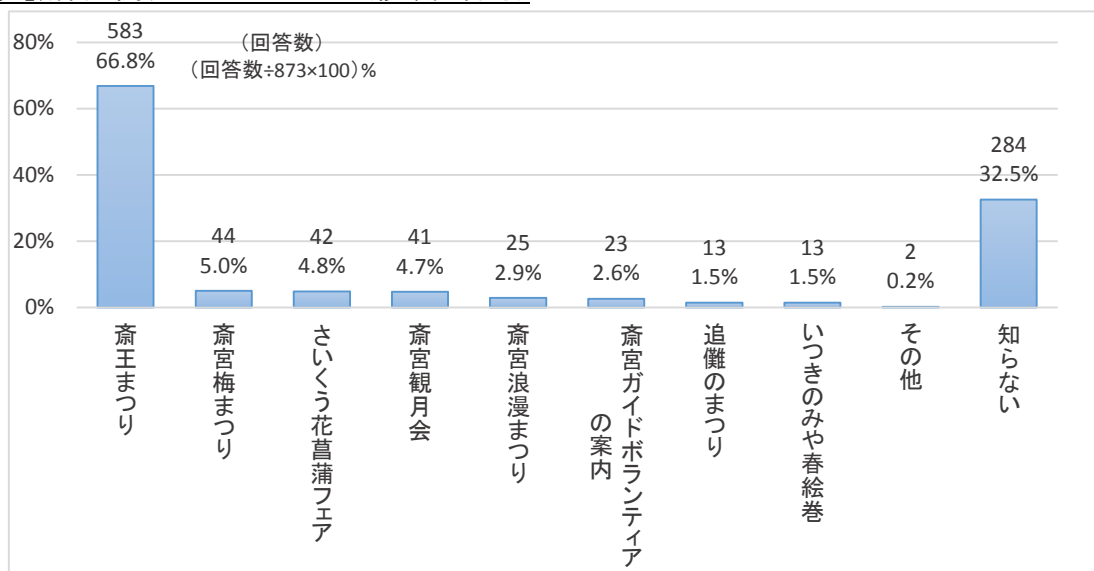
【4】齋宮での来訪先について(複数回答可)

齋宮を訪れたことが「ある」と答えた方(287名)にお聞きます。その時どこに行かれましたか(Q5)



齋宮を訪れたことがあると答えた方(287名)のうち、8割以上(86.1%)が「齋宮歴史博物館」を訪れており、続いて回答が多かったのは、「いつきのみや歴史体験館(39.0%)」、「齋宮歴史ロマン広場(31.4%)」、「齋王の森(27.2%)」でした。

【5】齋宮に関するイベントについて(複数回答可)

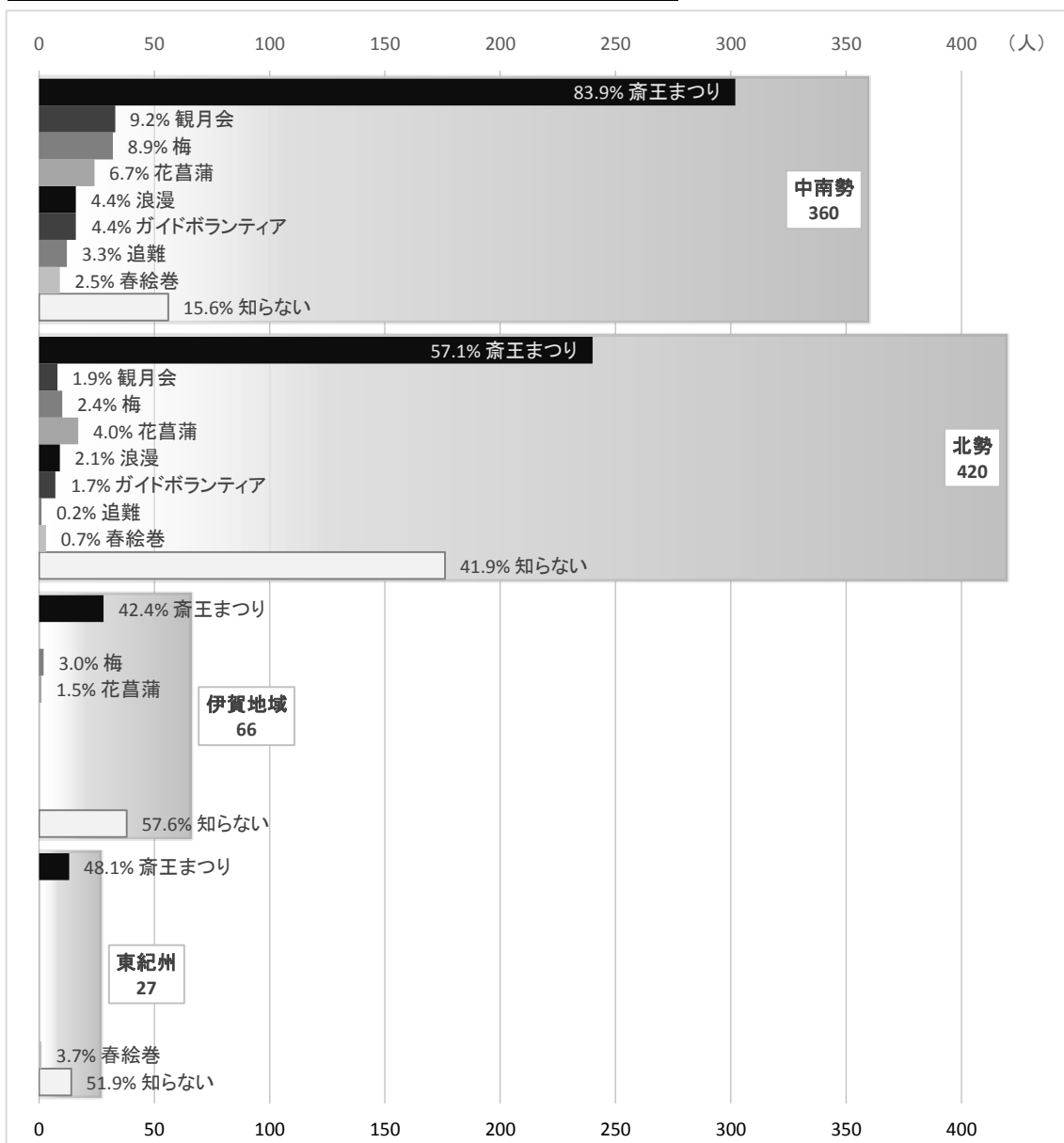


齋宮に関するイベントで、ご存じだったものはありますか(Q6)

その他の回答……機織りの体験、平安の食事／機織り、十二単等の試着体験 等

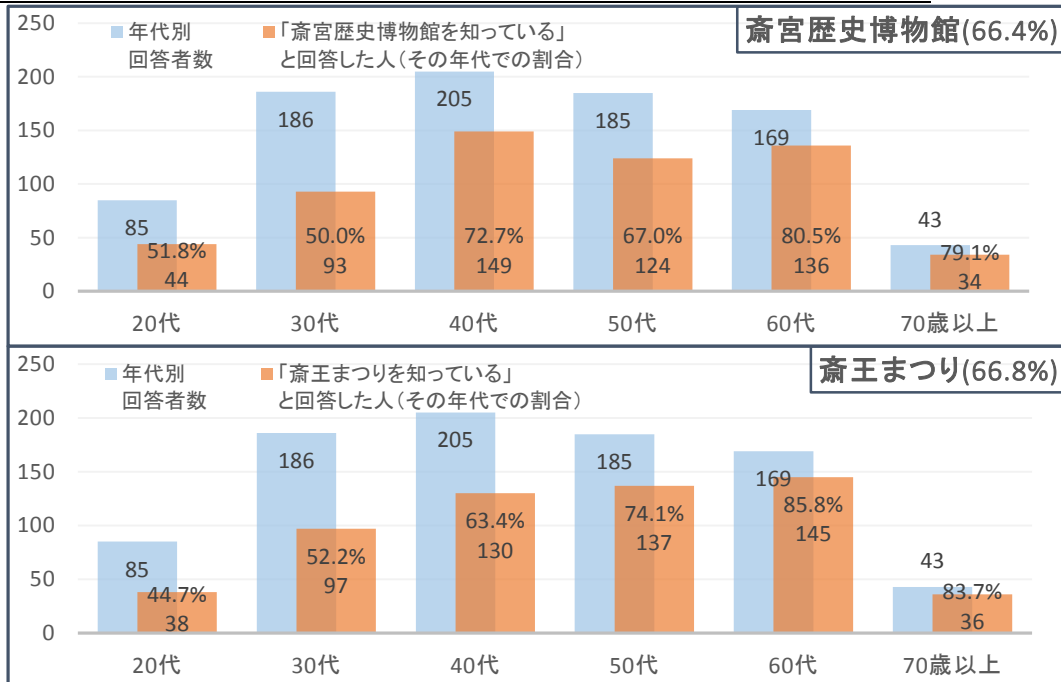
「齋王まつり」は回答者全体の7割近く(66.8%)が知っていると回答していますが、他のイベントについては、どのイベントも5.0%に満たない結果となりました。また、齋宮のイベントについて「全く知らない」という回答者は3割を越えています。

◆地域別に見た、齋宮に関するイベントの認知度(複数回答可)



「齋王まつり」の認知度が最も高いのは中南勢地域ですが、他の地域でも5割程度に認知されていることが伺えます。一方で、「齋王まつり」以外のイベントの認知度は低く、中南勢以外の地域では4割以上、特に伊賀地域では6割近くが、齋宮のイベントを全く「知らない」と回答しています。

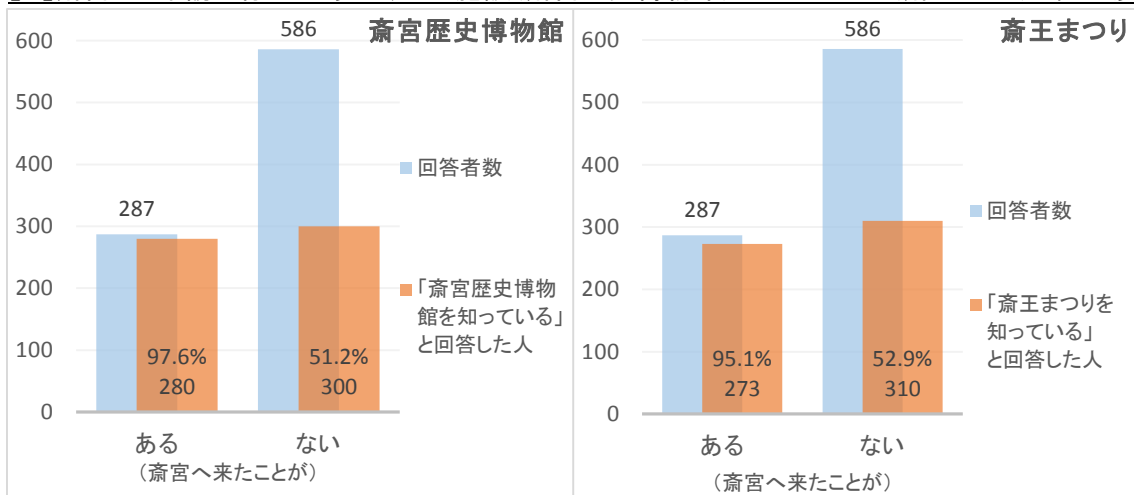
【6】年代別に見た、主な施設(齋宮歴史博物館)と主なイベント(齋王まつり)の認知度



「齋宮歴史博物館」については20～30代の認知度は5割程度ですが、40代以上では7、8割程度と比較的認知度が高くなっています。

「齋王まつり」の認知度は、年代が上がる度10%ずつ高くなる傾向にあり、60代では85%以上から認知されています。

【7】齋宮への来訪の有無から見た、主な施設(齋宮歴史博物館)と主なイベント(齋王まつり)の認知度

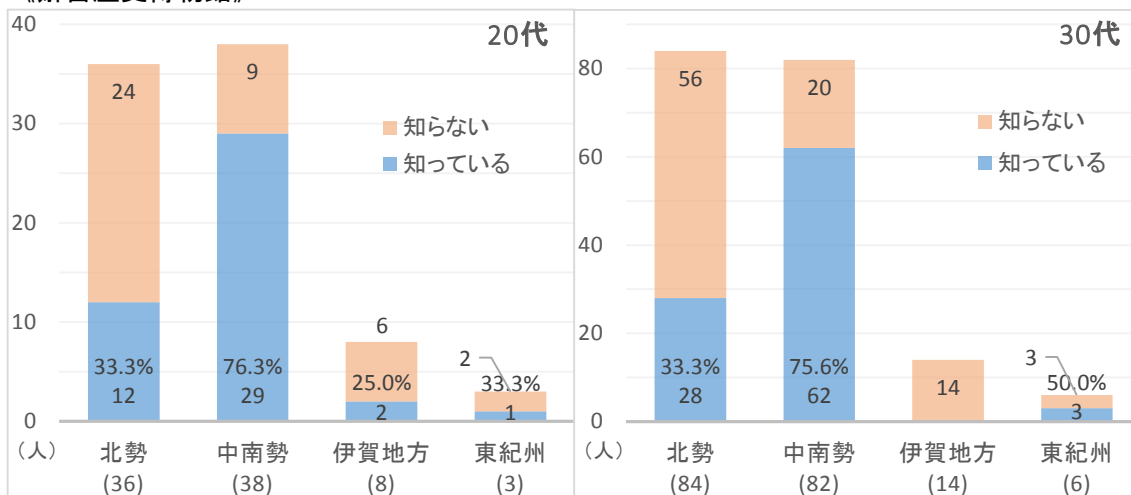


齋宮を訪れたことがあると答えた方の齋宮歴史博物館や齋王まつりの認知度は9割以上で、訪れたことがないと答えた方も、約5割の人が知っていると回答しています。

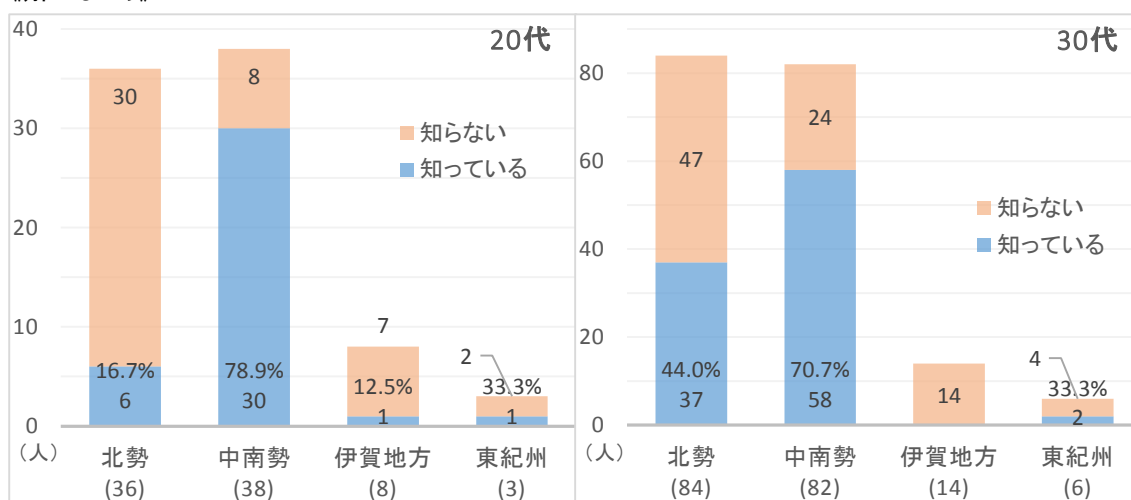
【8】20代、30代における

地域別に見た、主な施設(齋宮歴史博物館)と主なイベント(齋王まつり)の認知度

《齋宮歴史博物館》



《齋王まつり》



「齋宮歴史博物館」の認知度は、北勢地域では約 33%、中南勢では 75~76%と、20 代 30 代ともに似た傾向が見られました。

「齋王まつり」の認知度は、中南勢ではどちらも7割を越えていますが、北勢地域では 20 代の 16.7%と比較して、30 代では 44.0%と、認知度に差が見られました。

今回、伊賀地域の 30 代からは、博物館や齋王まつりを知っているという回答が得られませんでした。

【9】史跡公園「さいくう平安の杜」について

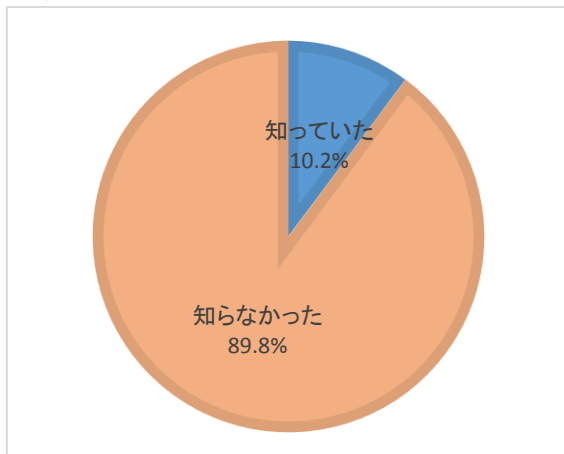
齋宮跡で復元建物三棟を再現した新しい歴史公園

「さいくう平安の杜」ができるのをご存じでしたか(Q7)

知っていた	89
知らなかった	784

アンケート実施時(2015/07/02)、「さいくう平安の杜」のオープンを「知っていた」割合は、全体の10.2%でした。

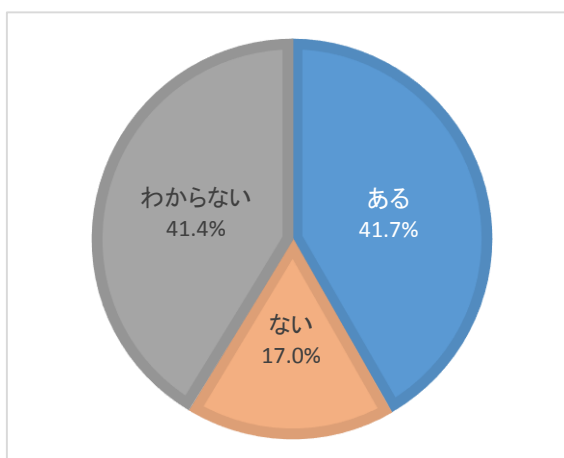
(「さいくう平安の杜」は 2015/10/24 オープン)



◆「さいくう平安の杜」への興味の有無について

「さいくう平安の杜」に興味がありますか(Q8)

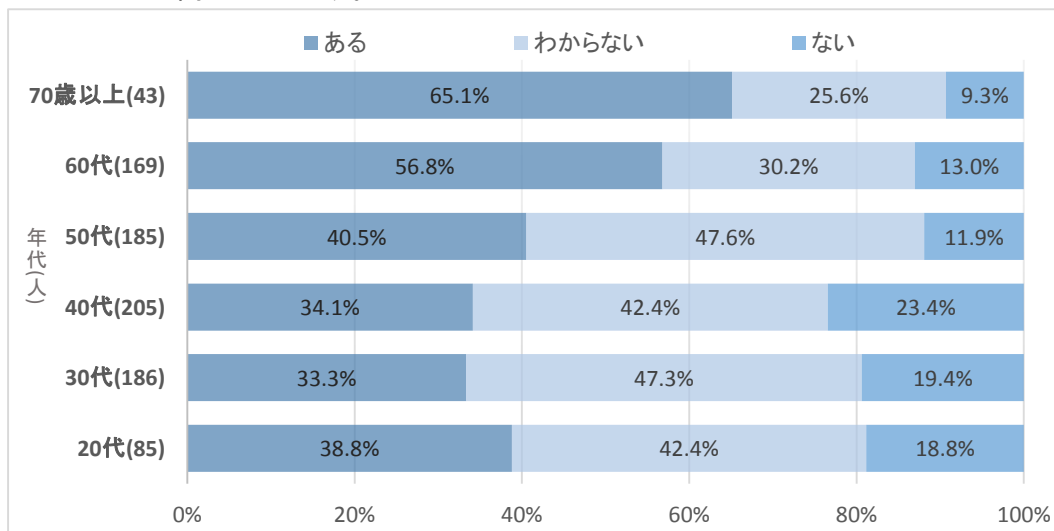
ある	364
ない	148
わからない	361
計	873



回答者全体の約4割が「興味がある」と回答しています。一方で、2割弱が「興味がない」と回答し、およそ4割が「わからない」と回答しています。

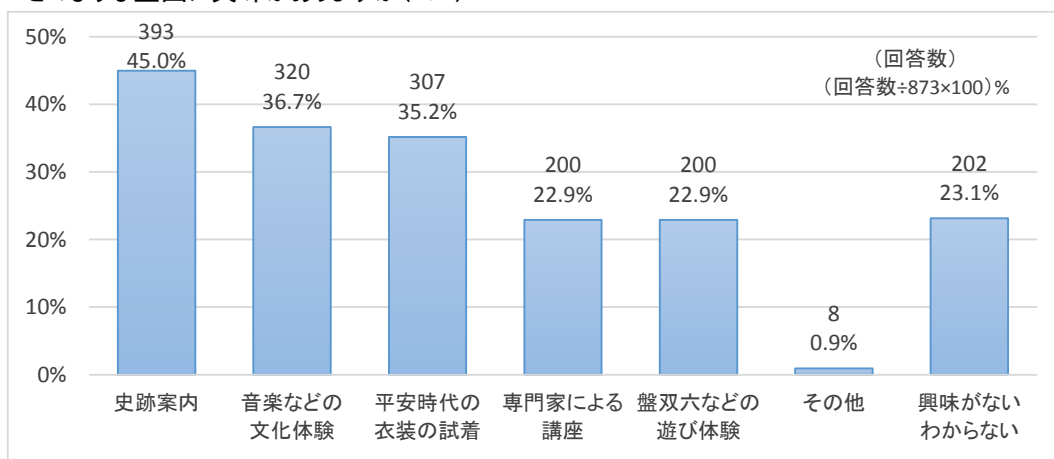
◆年代別に見た、「さいくう平安の杜」への興味の有無

「興味がある」と答えた割合が高かった年代は、70歳以上(65.1%)や60代(56.8%)で、「興味がない」と答えた割合が高かったのは、40代(23.4%)や30代(19.4%)となりました。また、50代以下では、「わからない」との回答が各年代とも4割以上を占めています。一方、20代で「興味がある」と答えた割合は、30代40代と比べると高くなっています。



【10】「さいくう平安の杜」における企画等への関心について(複数回答可)

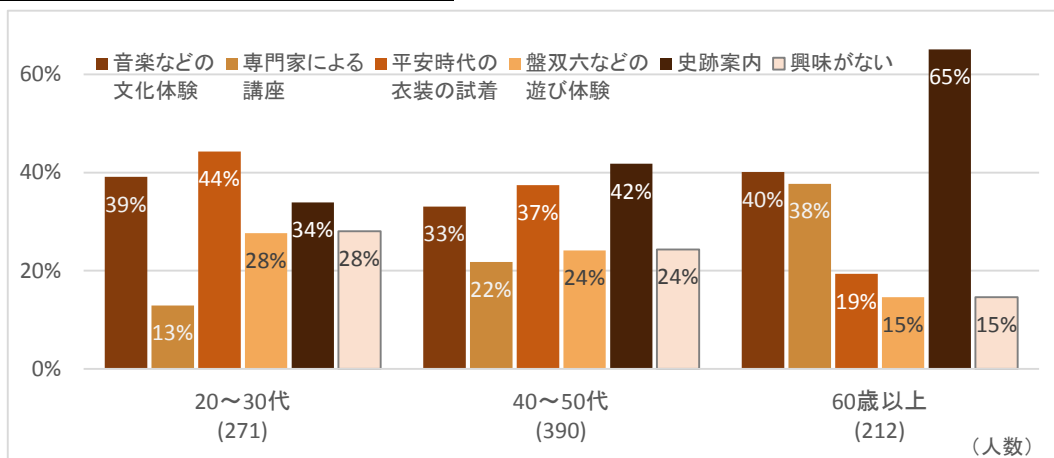
「さいくう平安の杜」では、さまざまなイベントが計画されていますが、斎宮や平安時代についてどのような企画に興味がありますか(Q9)



その他の回答……発掘体験/建築様式/地政学的見解/その場所で食されていたものの再現・試食/地政学的見解/染色・機織り体験/舞い等

最も関心が高かったのは、「史跡案内」の45.0%、続いて「音楽などの文化体験」が36.7%、「平安時代の衣装の試着」が35.2%でした。一方で、「興味がない/わからない」との回答は、全体の23.1%でした。

【11】年代別に見た、各企画への関心度合



20～30代で最も回答が多かったのは「平安時代の衣装の試着(44%)」、2番目が「音楽などの文化体験(39%)」で、最も低かったのは「専門家による講座(13%)」でした。

40～50代で最も回答が多かったのは「史跡案内(42%)」、2番目が「平安時代の衣装の試着(37%)」で、最も低かったのは「専門家による講座(22%)」でした。

60歳以上で最も回答が多かったのは「史跡案内(65%)」、2番目が「音楽などの文化体験(40%)」で、最も低かったのは「盤双六などの遊び体験(15%)」でした。

【12】「さいくう平安の杜」における企画等について(自由記述)

「さいくう平安の杜」で行われるイベントにどんなものがあつたらよいと思いますか(Q10)

回答の主な内容は次の通りでした。

- ・フリーマーケットやスタンプラリーなど、とりあえず足を運びやすいような企画をし、興味を持ってもらう
- ・民放各局の旅番組や情報番組での露出など、メディア取材も巻き込んだ企画
- ・明和町だけでなく、近隣(大台町や多気町)でも企画講座を行う
- ・写真や土産など記念になる物を持ち帰れるよう、売店や撮影スポットを充実させる(顔出しパネル等)
- ・簡略化した衣装を安価で施設内レンタル
- ・斎王という役割を知る、体験できる催し／平安時代の生活様式、食べ物、遊びなどの再現
- ・当時の衣装での音楽、雅楽の生演奏、踊りなど
- ・お茶会など、着物を着てのイベント
- ・音楽フェス(ロック、Jazz等)／中高生の吹奏楽部、三重県出身の歌手などによる演奏会やコンサート
- ・アイドルなどによる当時の再現ショー、芝居、寸劇、ミュージカル
- ・斎王祭りの規模の拡大
- ・こじつけでなく、史跡と何かしら関係のある催しが良い
- ・もう少し今の時代にあつたものに力を入れてほしい
- ・「さいくう平安の杜」がよく分からず、実際何が出来るか分からないのもっとPRすべき

そのほか「当時の文化を体験できる／子ども連れでの参加しやすさ」を重視した回答が多く見られました。